

発信!

地域自慢 31



とどろき
轟木学区連合町内会
地域で学び、地域で楽しむ



轟木学区の地域をあげた子どもたちとの交流について、轟木学区連合町内会長 鈴木國男^{くにお}さん、轟木下民生委員 鈴木誠逸^{せいいつ}さんにお話をうかがいました。

○子どもたちを軸に

轟木学区連合町内会では、保育園、小中学校と連携、協力し、生き物の成育活動、農業体験、運動会、敬老会、「とどろきまつり」といったさまざまな学習や行事を通じて、世代を超えた交流を図っています。

○地域で学び、地域で楽しむ

成育活動では、地域住民で構成され環境保全に取り組む赤川地区資源保全隊が中心となり、子どもたちとカブト虫の成育、観察を行っています。

また、農業体験では、轟木小学校の学校田を使用し、児童と地域住民が協力して田起こしから稲刈りまでを行います。秋には、「とどろきまつり」が開催され、第1部では、収穫感謝祭と餅つき、第2部では、地域住民が先生となり、昔の遊びなどの体験学習、第3部は、保護者の方々によるバザーと、学区の方々に一日中にぎわいます。

○子どもたちとのふれあいが地域の楽しみに

轟木学区では、子どもたちと共に学び体験できるさまざまな機会を、地域の交流の場として、また楽しみ場の場として大切にしています。

お年寄りの方々には学習発表会や敬老会での子どもたちとのふれあいや成長を楽しみに生き活きと生活されており、また子どもたちを通して、住民同士の新たな交流も広がっています。

地域全体で子どもたちを見守り、育て、また自分自身も楽しみながら、これからも地域をあげて子どもたちとの交流を深めていきたいと考えています。



(写真右回りに)
運動会の様子
しめ縄づくりの様子
轟木学区敬老会の様子

